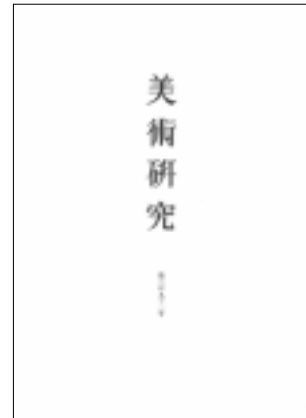


行。本年度は以下の通り392号、393号、394号を刊行した。出版に際し、東京美術商協同組合より助成を受けた。



『美術研究』392号（19年度第1冊／2007年9月刊行）

- （論 文）皿井舞「醍醐寺薬師三尊像と平安前期の造寺組織（上）」
- （論 文）江村知子「根生いの分限、絵描きへの道
—尾形光琳を取り巻く環境と作品制作について—」
- （論 文）塩谷純「川端玉章の研究（一）」
- （論 文）蔵屋美香「絵画の下半身
—一八九〇年～一九四五年の裸体画問題—」
- （展覧会評）浦上玉堂展（戸田禎佑）

『美術研究』393号（19年度第2冊／2008年1月刊行）

- （論 文）勝木言一郎「古代の日本における阿弥陀浄土図の受容とその位相
—法隆寺金堂壁画第六号壁と当麻曼荼羅をめぐる受容の本質とその言説の形成を中心に—」
- （論 文）皿井舞「醍醐寺薬師三尊像と平安前期の造寺組織（中）」
- （論 文）綿田稔「自牧宗湛（上）」
- （展覧会評）田中淳「昭和前期をめぐる三人の画家たち—小島善三郎・鶴岡政男・鬚光—」
- （書 評）根立研介『日本中世の仏師と社会—運慶と慶派・七条仏師を中心に—』（津田徹英）

『美術研究』394号（19年度第3冊／2008年3月刊行）

- （論 文）綿田稔「自牧宗湛（中）」
- （論 文）相澤正彦「土佐光吉と大画面絵画」
- （論 文）張辰城（石附啓子訳）「朝鮮後期古董書画収集熱の性格
—金弘道の《布衣風流図》と《土人肖像》に対する検討—」
- （研究資料）江村知子「土佐光吉筆『曾我物語図屏風』について」

『無形文化遺産研究報告』（⑥無04-07-2/5：無形文化遺産部出版関係事業の一環として実施）

無形文化財や無形民俗文化財、文化財保存技術に関する研究論文、調査報告、資料翻刻等を掲載している。

『無形文化遺産研究報告』第2号

- 宮田繁幸「無形文化遺産保護における国際的枠組み形成2」
- 森下愛子「『土型』の保存とその公開について
—伝統的陶芸技術の公開と普及の方法—」
- 深津（福岡）裕子「染織工芸技術の変遷
—葛布の製作技法と用途を事例として—」
- 飯島満「国立音楽大学付属図書館寄贈 竹内道敬旧蔵音盤目録（2）」
- 埋忠美沙
「東京文化財研究所無形文化遺産部所蔵 歌舞伎舞台写真目録—昭和—」
- 高桑いづみ
「世阿弥自筆本の節付けを考える—『難波梅』から『盛久』・『江口』まで—」
- 服部比呂美「庄内地方における雛祭りの飾り物—雛菓子と押絵雛菓子」
- 大島曉雄「無形民俗文化財の『変化』を考える—特に文化財指定との関連で—」



⑥刊行物 Area14

鎌倉恵子「〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽の裏方

—囃子の世界を中心に—吉田篁助師 藤舎秀左久師 望月大明吉師に聞く」

『無形民俗文化財研究協議会報告書』（⑥無04-07-2/5：無形文化遺産部出版関係事業の一環として実施）

無形文化遺産部では毎年テーマを定め、保存会関係者・行政担当者・研究者などが一堂に会して無形の民俗文化財の保護と継承について研究協議する会を開催する。その第2回に当たる本年度は「市町村合併と無形民俗文化財の保護」をテーマとして開催し、その報告・総合討議の内容などをまとめて報告書として刊行した。

テーマ「市町村合併と無形民俗文化財の保護」

I. 鈴木規夫「序にかえて」

II. 俵木悟「趣旨説明」

III. 報告

*報告1 木村弘樹「市町村合併による民俗芸能の保護と継承
—相模原市内の一人立ち三匹獅子舞を中心に—」

*報告2 千田和文「市町村合併と保存会活動—盛岡市の事例を中心に—」

*報告3 寺田昭士「町村合併と無形民俗文化財の保存と活用
—とくに学校教育において—」

*報告4 戸田 剛「市町村合併と民俗芸能の伝承—
『合併から政令市へ』浜松市を例に—」

*報告5 須田弘宗「市町村合併が綾子舞の保存振興に与えた影響」

IV. 総合討議

V. 参考資料

VI. アンケート集計結果

VII. あとがき



「保存科学」47号の出版（⑥保04-07-2/5）

所属研究員による文化財の保存と修復に関する科学的調査、研究、受託研究報告等の論文、報告および修復処置概報等を掲載している。

『保存科学』第47号

小椋大輔、犬塚将英、石崎武志、銚井修一、北原博幸、多羅間次郎

「高松塚古墳石室解体時の壁画保存のための温湿度環境の制御」

Magdi KHALIL and Takeshi ISHIZAKI, "Moisture Characteristic Curves of Tuff Breccia Stone"

木川りか、間渕創、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保「高松塚古墳発掘・石室解体作業に伴う取合部・断熱覆屋使用木材等の防カビ対策：DDACの検討と施工」

早川泰弘「蛍光X線分析による国宝吉祥天像の彩色材料調査」

北野信彦、小檜山一良、竜子正彦、高妻洋成、宮腰哲雄

「桃山文化期における輸入漆塗料の流通と使用に関する調査」

